(T A 半期開示作成用例示資料)

JA甘楽富岡半期開示

(令和7年3月~令和7年8月)

令和7年 8月末現在





1. 地:	域貢献情報		
(1)	地域貢献の全般に関する事項	•••••	1
(2)	地域からの資金調達の状況	•••••	1
(3)	地域への資金供給の状況	•••••	1
(4)	文化的・社会的貢献に関する事項	•••••	2
2. 財	務状況等		
(1)	令和7年8月末(仮決算)の状況		3
(2)	貸借対照表		3
(3)	損益計算書	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	4
(4)	主要勘定の状況	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5
(5)	農協法および金融再生法に 基づく開示債権 (単体)	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5
(6)	単体自己資本比率	•••••	5
(7)	有価証券の時価		5

1. 地域貢献情報

(1) 地域貢献の全般に関する事項

私どもJA甘楽富岡は、経営の基本に「一人は万人のために・万人は一人のために」(Each for All・All for Each)という相互扶助の協同組合精神を掲げております。「協同」とは心と力を合わせ、一つの目的に進んでいくことです。その目的とは、組合員の皆様はもとよりくすべての人々の平等と幸福>の追求であります。また、私どもが立脚している農業は、人間の命をつなぐ作物や家畜を育てるとともに、大気や水や土などのかけがえのない資源をはぐくみ、国土を保全し、伝統や文化を継承して皆様のふるさとを提供するなど多面的な機能を併せ持っています。私どもは、この大切な農業を守り発展させていくため、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、営農指導・販売・購買・信用・共済・高齢者介護福祉など様々な事業活動を展開しております。

当JAは、富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町を事業区域として、農業者を中心とした 地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織であ り、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

組 合 員 数 11,158 人 出 資 金 1,426,465 千円 (一口 1,000円)

(2) 地域からの資金調達の状況

当JAの資金は、その大半が組合員並びに地域住民の皆様からお預かりした大切な財産である「貯金」を財源としております。

貯 金 残	高	85,961,033	千円
内訳			
要求払貯	金	(50,745,395	千円)
定期貯	金	(34,443,776	千円)
定期積	金	(771,862	千円)

(3) 地域への資金供給の状況

組合員・地域住民の皆様方の暮らしや、農業者・事業者の皆様方の事業に必要な資金として、ご利用いただいております。

また、地方公共団体等へもご融資し、地域経済の質的向上・発展に貢献しています。 更に、日本政策金融公庫(農林水産事業・国民生活事業)、住宅金融支援機構等の融資の 申し込みのお取り次ぎもしています。

貸出金残高	12,192,223 千円
内訳	
農業資金	(846,544 千円)
住宅ローン	(6,421,717 千円)
生活ローン	(493,189 千円)
一般資金	(4,333,811 千円)
当座貸越	(96,962 千円)

- (4) 文化的・社会的貢献に関する事項
 - ① 文化的・社会的貢献に関する事項
 - 「地産地消」運動の取り組み
 - 学校給食への地元農産物の提供に係る支援
 - 地域行事への参加
 - 管内小学校新1年生への「ランドセルカバー」の配付による交通安全の啓発
 - 管内小中学校等との連携による農業体験学習会の開催
 - 各種農業関連イベントや地域活動への協賛・後援
 - 高齢者介護福祉活動への取り組み
 - 各種ボランティア活動への参加
 - 社会保険労務士による年金相談会の実施
 - 弁護士による法律相談会の実施
 - 税理士による税務相談会の実施
 - 絵や作文のコンクールの開催
 - 農業用廃ポリ・廃ビニール及び農薬空き容器等の回収
 - 富岡市地区赤十字有功会への加入と献血運動への協力
 - JAグループによる災害支援 (募金活動)
 - ② 地域密着型金融への取り組み
 - 農業者等の経営支援に関する態勢整備
 - 地域活性化のための融資を始めとする支援
 - ライフサイクルに応じた担い手支援
 - 担い手に適した資金供給手法の取り組み
 - ③ 事業継続計画 (BCP) の整備
 - ④ 利用者ネットワーク化への取り組み
 - 年金友の会 (親睦旅行とグラウンド・ゴルフ大会の開催)
 - ゴルフ定積友の会(ゴルフ大会の開催)
 - 「A高齢者生活支援事業 (ホームヘルプ・施設介護サービスの実施)
 - ⑤ 情報提供活動
 - 組合員広報誌「みどりの風」の発行
 - JA甘楽富岡ホームページによる情報の発信 (http://www.jakantomi.or.jp/)

Ⅱ 財務状況等

1. 令和7年8月末 (仮決算) の状況

組合員の高齢化・離農により営農事業基盤は縮小傾向にあり、これに伴いJA全体の事業量も右肩下がりの状況のなかではありますが、農業所得増大をJA最大の目標として取り組んでおります。

令和7年度上半期は、事業総利益・事業損益は前年・計画ともに下回る状況で、特に購買 事業においては供給高の大幅な減少となりました。

また、上半期においては原材料高騰対策として、地域農業振興強化積立金の取り崩しを行い、高騰対策支援の一助とさせていただきました。今後においても高騰対策は継続的に取り組み、コスト低減から農業所得増大に繋げます。

年々減少する農畜産物生産に対し、本年においては「5%増産運動」として農畜産物増産 を積極的に推進し、地域農業の継続的な経営維持のためにJA全体で取り組んでいます。 経営基盤強化対策、慢性的な人員不足、施設老朽化と課題は山積でありますが、ひとつづ つ対応し地域・組合員から必要とされるJAづくりに継続的に取り組みます。

2. 貸借対照表

(単位:千円)

科		金	額	科	目	金	額
(資産の部)				(負債の部)			
1. 信用事業資産		83,68	88,587	1. 信用事業負債		86,22	0,898
(1) 現 金		38	35,719	(1) 貯 金		85,96	1,033
(2)預 金		68,50	7,426	(2) 譲渡性貯金			
(3) 買入金銭債権				(3) 借入金			606
(4)金銭の信託				(4) その他の信	用事業負債	25	9,258
(5) 有価証券		2,37	9,378	(5) 諸引当金			
(6) 貸出金		12,19	2,223	2. 共済事業負債		58	80,581
(7) その他の信用事業資	産	28	39,362	3. 経済事業負債		35	2,440
(8) 債務保証見返				5. 雑負債		45	2,646
(9) 貸倒引当金		△ 6	55,521	6. 諸引当金		4	8,268
2. 共済事業資産			1,797	8. 再評価に係る	繰延税金負債	22	2,670
3. 経済事業資産		53	35,628	負債の	部合計	87,87	7,505
4. 雜資産		28	31,481	(純資産の部)			
5. 固定資産		2,98	34,994	1. 組合員資本		5,00	6,559
6. 外部出資		5,07	6,425	(1) 出資金		1,54	2,800
7. 前払年金費用		13	39,115	(2) 利益剰余金		3,53	5,198
8. 繰延税金資産			471	(3) 利益準備金		2,33	4,813
				(4)その他利益	剰余金	1,20	0,385
				(5) 処分未済持	分	\triangle 7	1,439
				2. 評価・換算差	額等	△ 17	5,564
				(1)その他有価	証券評価差額金	△ 70	4,746
				(2) 土地再評価	差額金	52	9,181
				純資産の	部合計	4,83	0,995
資産の部合	計	92,70	8,501	負債及び純資	産の部合計	92,70	8,501

3. 損 益 計 算 書

(単位:千円)

科目	金 額	科目	金 額
1. 事業総利益	1,069,118	(9)その他事業収益	195,477
(1) 信用事業収益	350,373	(10)その他事業費用	100,757
資金運用収益	323,651	その他事業総利益	94,720
役務取引等収益	15,811	2. 事業管理費	960,704
その他事業直接収益		(1)人件費	664,362
その他経常収益	10,910	(2) 業務費	109,562
(2) 信用事業費用	83,285	(3) 諸税負担金	29,867
資金調達費用	67,943	(4) 施設費	154,819
役務取引等費用	3,371	(5) その他事業管理費	2,092
その他事業直接費用		事業利益	108,413
その他経常費用	11,970	3. 事業外収益	70,629
信用事業総利益	267,087	4. 事業外費用	12,143
(3) 共済事業収益	299,375	経常利益	166,898
(4) 共済事業費用	18,065	5. 特別利益	6,434
共済事業総利益	281,309	6. 特別損失	0
(5) 購買事業収益	1,406,000	税引前当期利益	173,333
(6) 購買事業費用	1,090,413	7. 法人税、住民税及び事業税	31,297
購買事業総利益	315,586	8. 法人税等調整額	△ 3,599
(7) 販売事業収益	198,460	当期剰余金	145,635
(8) 販売事業費用	88,048		
販売事業総利益	110,411		

4. 主要勘定の状況

(单位:千円)

			令和7年2月末	令和7年8月末	増 減
貯		金	84,675,757	85,961,033	1,285,276
貸	出	金	12,156,609	12,192,223	35,614
預		金	67,496,293	68,507,426	1,011,133
有	価 証	券	2,228,903	2,379,378	150,475

5. 農協法および金融再生法に基づく開示債権(単体)

(单位:千円)

債 権 区 分	令和7年2月末	令和7年8月末	増 滅
破産更生債権および これらに準ずる債権	71,172	68,866	▲ 2,306
危険債権	39,863	38,830	▲ 1,033
要管理債権	_		_
三月以上延滞債権	_		_
貸出条件緩和債権	_	_	_
小計	111,036	107,697	▲ 3,339
正常債権	12,057,462	12,101,151	43,689
合 計	12,168,498	12,208,848	40,350

6. 单体自己資本比率(国内基準適用)

令和7年2月末	令和7年8月末		
13.33%	15.56%		

(注) 令和7年8月末の比率は、次の方法により算出しています。

- 1 基本的に令和7年8月末の数値を用いて計算していますが、8月末時点の額を 把握できないものについては、令和7年2月末の残高を使用しています。
- 2 令和7年2月末から令和7年8月末までの間に、特別に債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき、必要な修正をしています。
- 3 バーゼルⅢ最終化適用に伴い自己資本比率の算出方法が変更になっています。

7. 有価証券の時価

(単位:千円)

保有区分	☆和7年2月末			令和7年8月末		
保有区分	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
満期保有目的	699,973	683,920	▲ 16,053	999,976	973,270	▲ 26,706
その他保有目的	2,083,776	1,528,930	▲ 554,846	2,084,148	1,379,402	▲ 704,746
合 計	2,783,749	2,212,850	▲ 570,899	3,084,124	2,352,672	▲ 731,452

(注) 令和7年8月末の計数は、次の方法により算出しています。

- 1 8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。
- 2 取得価額は取得原価または償却原価によっています。



耕そう、大地と地域のみらい。

